

平成22年12月20日

(社) 愛知県建設業協会
環境保全担当者 様

名古屋市環境科学研究所

平成22年度 名古屋市環境科学研究所・調査

研究発表会のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、名古屋市の環境行政につきまして、格別のご高配を賜りお礼申し上げます。

さて、当研究所では、日頃の調査研究成果について毎年発表会を実施しておりますが、本年も別添案内チラシの要領で発表することになりましたので、ご案内申し上げます。

また今回は、特別講演として名古屋大学年代測定総合研究センター 中村俊夫教授より「炭素による年代測定法とその応用—考古学から温暖化ガスまで」と題し、考古学から大気汚染の観点も含めてご講演いただきます。

ご多忙とは存じますが、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご担当の方より、関係各位にご回覧いただければ幸甚に存じます。

敬具



平成22年度 名古屋市環境科学研究所

調査研究発表会

～特別講演:炭素による年代測定法とその応用—考古学から温暖化ガスまで～

環境科学研究所は、名古屋市の環境問題に関する専門的調査研究機関です。
最新の調査研究の成果を、担当研究者が発表します。皆様のご来場をお待ちしています。

■ 日時:平成23年2月4日(金)13:30～17:00

■ 会場:名古屋市消費生活センター第一研修室

入場無料、先着申込み100名様

中区栄一丁目23-13 伏見ライフプラザ12階

地下鉄「伏見駅」6番出口から南へ350メートル

内容

○研究発表第一部(13:40～14:40)

1.「名古屋市内における樹木着生こけ類について」

樹木に着生するこけ類(蘚苔類及び地衣類)は、大気汚染の指標として有効とされています。市内で見られる種類と分布状況を紹介し、大気汚染との関係を考えます

2.「水環境に存在する微量化学物質について」

法律の改正などにより近年注目されている化学物質の紹介とそのうちの一つである臭素系難燃剤の市内河川及び海域における濃度分布について発表します

○特別講演(14:40～15:40)

「炭素による年代測定法とその応用—考古学から温暖化ガスまで」

名古屋大学年代測定総合研究センター長 教授 中村 俊夫さん

考古学の年代測定決定に使われる放射性炭素測定法と環境への応用についてのお話です

○休憩・質疑応答(15:40～16:00)

○研究発表第二部(16:00～17:00)

3.「道路交通騒音対策としての低騒音舗装の効果」

道路騒音の低減対策として排水性舗装が進められていますが、この効果を紹介します

4.「光化学オキシダントの植物への影響」

アサガオを用いて光化学オキシダントの影響を観察しました。その結果をお話します

※都合により、時間は変更になる場合があります。

申 込 方 法

はがき、FAX、Eメールのいずれかの方法で、環境科学研究所あてにお申し込みください。

締切:平成23年1月21日(金)必着

定員:先着100名様。入場整理券をお送りします。

定員を超過し入場をお断りするときは、入場整理券を発行しませんので、お手元に連絡はいきません。悪しからずご了承ください。

■申込に書いて下さい

- ①「発表会参加申込」 と明記のうえ、
- ②郵便番号、
- ③住所、
- ④氏名、
- ⑤連絡先電話番号、
- ⑥申込人数
- ⑦企業名・所属名(連絡先が企業の場合のみ)、
をご記入下さい。

■申込先・問い合わせ先

名古屋市環境科学研究所

〒457-0841 名古屋市南区豊田五丁目16-8

電話:692-8481

FAX:692-8483

Eメール:a6928481@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

* いただいた個人情報は、本発表会や公開講座等の当研究所の行事案内に使用させていただきます。

その他の目的には一切利用致しません。